**2022年８月26日**

**全国商工会連合会**

小規模企業景気動向調査　［２０２２年７月期調査］

～感染急拡大による需要低迷、コスト増の影響による採算・資金繰りに苦しむ小規模企業景況～

**小規模企業景気動向調査**　［２０２２年７月期調査］

**～****感染急拡大による需要低迷、コスト増の影響による採算・資金繰りに苦しむ小規模企業景況～**

**＜産業全体＞　感染急拡大による需要低迷、コスト増の影響による採算・資金繰りに苦しむ小規模企業景況**

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
|  | ６月 | ７月 | 前月比 |
| 売上額 | ▲ 3.6 | ▲ 10.0 | ▲ 6.4 |
| 採算 | ▲ 48.4 | ▲ 51.4 | ▲ 3.0 |
| 資金繰り | ▲ 37.4 | ▲ 40.0 | ▲ 2.6 |
| 業況 | ▲ 34.3 | ▲ 38.5 | ▲ 4.2 |

**７月期の産業全体の業況は、売上額DIが大幅に悪化、採算・資金繰り・業況DIは小幅な悪化となった。コロナ第７波の急拡大により、５月期、６月期と持ち直しの動きが見られた売上DIが悪化に転じた。また、原油及び原材料高騰によるコスト負担に加え、急激な円安等により採算の悪化につながっているものとみられる。これらの需要の低迷や採算の悪化が、資金繰りにも影響を与え、借り換えやリスケで対応している、などのコメントが目立ち始めている。**

**＜製造業＞　一部で価格転嫁が進むも、限定的であり、採算・資金繰りに苦しむ製造業**

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
|  | ６月 | ７月 | 前月比 |
| 売上額 | ▲ 3.5 | ▲ 5.6 | ▲ 2.1 |
| 採算 | ▲ 55.3 | ▲ 54.8 | 0.5 |
| 資金繰り | ▲ 42.8 | ▲ 40.6 | 2.2 |
| 業況 | ▲ 42.4 | ▲ 40.8 | 1.6 |

製造業は、売上額DIが小幅に悪化、採算DIがわずかに改善、資金繰り・業況DIが小幅な改善となった。食料品関連は、原材料高騰により採算DIが低水準で推移しているが、価格や容量に転嫁する対策が進んでいる、とのコメントがあった。繊維関連は、売上DIが10ｐｔ超と大幅に悪化したが、採算・資金繰り・業況DIは小幅な改善が見られた。機械・金属関連は、半導体関係が全体を牽引し、全DIで改善がみられた。一方、労働力不足から受注制限する、などのコメントがあった。

**＜建設業＞　資材不足による着工延期が、売上に影響を及ぼし始めた建設業**

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
|  | ６月 | ７月 | 前月比 |
| 売上額 | ▲ 1.7 | ▲ 10.2 | ▲ 8.5 |
| 採算 | ▲ 57.1 | ▲ 60.2 | ▲ 3.1 |
| 資金繰り | ▲ 43.7 | ▲ 48.6 | ▲ 4.9 |
| 業況 | ▲ 34.0 | ▲ 42.1 | ▲ 8.1 |

建設業は、売上額・業況DIが大幅に悪化、資金繰り・採算・業況DIは全産業において最も低水準で推移している。官公需、民間工事の受注が堅調である一方、建築資材の入荷遅れが継続しているため、着工できず売上につながらない。価格転嫁対策が追い付かないことによる採算悪化、工期遅延による資金繰り悪化も深刻である。資材入荷後に短期間で労働力を集中させる時期が発生し、職人の人手不足が課題である、とのコメントがあった。

**＜小売業＞　商品の値上げ、感染症の拡大、猛暑など、業種ごとに明暗を分けた小売業**

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
|  | ６月 | ７月 | 前月比 |
| 売上額 | ▲ 9.9 | ▲ 12.0 | ▲ 2.1 |
| 採算 | ▲ 48.7 | ▲ 50.3 | ▲ 1.6 |
| 資金繰り | ▲ 40.6 | ▲ 40.0 | 0.6 |
| 業況 | ▲ 42.1 | ▲ 40.6 | 1.5 |

小売業は、売上額・採算DIが小幅に悪化し、資金繰りDIがわずかに改善、業況DIが小幅に改善した。食料品関連は、売上額DIが悪化に転じた。商品の値上げに対し、買い控えの傾向がみられる、とのコメントが目立った。衣料品関連は、売上DIが悪化に転じた。コロナによる外出自粛から来店客が減少した、とのコメントがあった。一方、耐久消費財関連は、売上DIが大幅に改善し、猛暑によるエアコンの需要が大きく伸びた、とのコメントが見て取れた。

**＜サービス業＞　感染症の急拡大により、回復基調から一転、大幅な業況悪化に苦しむサービス業**

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
|  | ６月 | ７月 | 前月比 |
| 売上額 | 0.6 | ▲ 12.3 | ▲ 12.9 |
| 採算 | ▲ 32.4 | ▲ 40.2 | ▲ 7.8 |
| 資金繰り | ▲ 22.6 | ▲ 30.8 | ▲ 8.2 |
| 業況 | ▲ 18.6 | ▲ 30.5 | ▲ 11.9 |

サービス業は、売上・業況DIが10pt超の大幅悪化、採算・資金繰りDIが大幅に悪化した。旅館関連は、５月期、６月期と、売上DIの大幅な改善がみられたが、７月期は20ｐｔ超の急激な悪化となり、全業種の中で最大の悪化幅を記録した。クリーニング関連も、外出控えから、売上DIが10ｐｔ超の大幅悪化となった。理・美容は、売上DIは小幅の悪化にとどまるものの、エステ関連では、売上の大幅な減少で廃業した、とのコメントがあり、一部の業種への影響が大きかった。

**調 査 概 要**

・調査対象：全国約300商工会の経営指導員

・調査時点：2022年7月末

・調査方法：対象商工会経営指導員による調査票への選択記入式

※ DI（景気動向指数）は各調査項目について、増加（好転）企業割合から減少（悪化）企業割合を差し引いた値を示す。

産業政策部　産業政策課　担当：元木　〒100-0006　千代田区有楽町1-7-1 有楽町電気ビル北館19F　TEL：03-6268-0085　MAIL：sangyo@shokokai.or.jp